令和〇年〇月〇日

株式会社○○○○

代表取締役 山田 太郎様

総務部

佐藤一郎 ㊞

**始末書**

私はこの度、勤務時間外にアルバイトを行っていたことが会社の就業規則に違反する行為であると認識し、深く反省しております。ここに謹んでお詫び申し上げます。

経緯を申し上げますと、私は20XX年X月X日より勤務時間外に別のアルバイトを開始いたしました。しかしながら、会社の就業規則において勤務時間外であってもアルバイトを禁止していることを十分に理解せず、この規定に反する行為を行ってしまいました。家計の事情を理由に安易にアルバイトを始めてしまいましたが、会社の規定を軽視した結果、会社の信頼を損ね、他の従業員への悪影響を及ぼす恐れを生じさせることとなり、誠に申し訳なく思っております。

今後は、このような行為を二度と繰り返すことのないよう、会社の就業規則を厳守し、適切な労働時間の中で職務に専念してまいります。また、信頼回復に努めるとともに、自己管理を徹底し、職場の秩序維持に貢献していく所存でございます。

以上